

事業番号										2023		-		金融		-		22		-		0031							
令和5年度行政事業レビューシート																									(金融庁)				
事業名					OECDが行うG20/OECDコーポレートガバナンス原則改訂に伴うメソドロジー改訂作業に必要な経費										担当部局庁			総合政策局					作成責任者						
事業開始年度					令和4年度			事業終了(予定)年度			終了予定なし				担当課室			総務課国際室					永山 玲奈						
会計区分					一般会計																								
根拠法令(具体的な条項も記載)					-										関係する計画、通知等			「経済財政運営と改革の基本方針2021」(骨太の方針)(令和3年6月18日閣議決定) 「成長戦略実行計画」(令和3年6月18日 閣議決定) 「経済財政運営と改革の基本方針2022」(骨太の方針)(令和4年6月7日閣議決定) 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画～人・技術・スタートアップへの投資の実現～」(令和4年6月7日閣議決定) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画・フォローアップ(令和4年6月7日閣議決定)											
政策					-										主要経費			その他の事項経費											
施策					-																								
政策体系・評価書URL					-																								
事業の目的(5行程度以内)					コロナ禍後の経済社会環境の変化の中で、企業の持続的な成長を支えるコーポレートガバナンスの枠組み整備に向けて、G20/OECDコーポレートガバナンス原則改訂(2023年末までに最終化予定)に伴う同原則のメソドロジー(実施細則)の改訂を支援する。																								
現状・課題(5行程度以内)					コロナ禍後の経済社会環境の変化の中で、OECDコーポレートガバナンス委員会(議長:神田財務官)は、企業の持続的成長や強靱性向上に資するコーポレートガバナンスの枠組み整備に向けて、G20/OECDコーポレートガバナンス原則の見直しに着手(G20ローマサミットで承認(2021年10月30日))。日本人が議長を務める同委員会の見直し作業を支援し、コーポレートガバナンスに関する唯一の国際基準である同原則及びメソドロジーに日本の国益を最大限反映するとともに、グローバルな資本市場整備を支援するため、日本が経費を拠出する必要がある。																								
事業概要(5行程度以内)					コーポレートガバナンス原則のメソドロジーの改訂に係るプロジェクトマネジメント及び会合の開催。																								
事業概要URL					-																								
実施方法					その他																								
補助率等					-																								
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)									令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求																
							当初予算(A)		-	-	30	31	31																
					予算の状況		補正予算(B)		-	-	-	-																	
												-																	
												-																	
												-																	
												-																	
												-																	
									前年度から繰越し(C)		-	-	-	-	-														
							翌年度へ繰越し(D)		-	-	-	-																	
							予備費等(E)		-	-	-	-																	
							計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)		-	-	30	31	31																
							執行額(G)		-	-	30																		
							執行率(%) =(G)/(F)		-	-	100%																		
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		-	-	100%																							
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)					歳出予算項・目			令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)																			
					(項)		金融政策費			「重要政策推進枠:31.3百万」																			
						(目)	経済協力開発機構拠出金	31	31																				
							その他																						
			計(A)			31	31																						

活動内容① (アクティビティ)		コーポレートガバナンス原則の改訂に関する会合の開催及び同原則改訂に伴うメソドロジー改訂に向けた作業									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		改訂に向けた議論が行われた会合の開催	コーポレートガバナンス原則改訂に関する会合の開催回数	活動実績	回	-	-	3	-	-	
				当初見込み	回	-	-	2	2	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	G20/OECDコーポレートガバナンス原則の改訂にあたっては、OECDコーポレートガバナンス委員会において各国当局や市場参加者が数多く集まって議論が行われる。事業の定量的な活動実績としては議論が行われた会合の参加者数が妥当であると考えられる。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		改訂に向け会合を開催し、各国当局や市場参加者等が数多く参加して議論を行う	改訂に関する会合の1回あたりの参加人数(のべ参加人数/開催回数)	成果実績	人	-	-	185	-		
				目標値	人	-	-	185	140		
				達成度	%	-	-	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		内部資料(OECD提供情報) 新型コロナウイルス感染症の影響等から、令和4年度会合の3回のうち2回はハイブリッド形式で開催されていたが、令和5年度会合は対面形式での開催が予定されている。 令和5年度の目標値については、対面形式で開催された直近の会合(令和5年3月開催)の参加人数に基づき設定している。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「G20/OECDコーポレートガバナンス原則」やメソドロジーを改訂する最終的な目標は、コーポレートガバナンスに関する唯一の国際基準として、各国におけるコーポレートガバナンス・コードの策定・批准といった各国における政策立案・運営能力強化に寄与することである。そのためには、同原則及びメソドロジーの普及・実施の促進が重要であり、目的を同じくしてOECDが開催するフォーラムを活用することが有益である。そうした観点から、OECDにおけるコーポレートガバナンスに関する会合の長期的なアウトカムは、フォーラムに参加した法域の数とすることが妥当であると考えられる。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度		
		コーポレートガバナンスに関する国際的な議論を活性化するとともに、グローバルな資本市場整備を支援し、国際協調に貢献していく。	フォーラムに参加した法域数(年間延べ数)	成果実績	カ国	-	-	70	-		
				目標値	カ国	-	-	70	71		
				達成度	%	-	-	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		内部資料(OECD提供情報) 令和4年度に開催された該当するフォーラムとして、OECDコーポレートガバナンス委員会(会合に参加した法域の延べ数/年間開催回数)、コーポレートガバナンスアジアラウンドテーブル及びラテンアメリカラウンドテーブルに参加した法域数を集計している。令和5年度の目標値については、令和4年度と同じフォーラムが開催される場合を仮定し、設定している。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									
アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載									チェック		
事業に関連するKPIが定められている 閣議決定等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									

[illegible]

事業番号2023 - 金融 - 22 - 0032

	令和5年度行政事業レビューシート				(金融庁)		
事業名	監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) 拠出金等			担当部局庁	総合政策局	作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	IFIAR戦略企画本部IFIAR戦略企画室	園田 周	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	『令和2年度革新的事業活動に関する実行計画』(令和2年7月17日閣議決定) 『新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画・フォローアップ』(令和4年6月7日閣議決定)		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) は、グローバルに監査監督機能を向上させることにより、投資家を含む公益に資することをミッションとし、①当局間で知見を共有し加盟当局の能力向上を図るとともに、②協調して国際的に重要な監査関係者と対話を行うことで、グローバルな監査品質の向上、ひいては資本市場の公正性・透明性の向上に取り組んでいる。正副議長レベルでのIFIARを代表した活動や、その運営についての意思決定機関である代表理事会における議論のほか、具体的な取組はWG(ワーキンググループ)やTF(タスクフォース)が担っている。2017年に常設事務局を東京に開設した。 本事業は、IFIARの拠点として我が国の国際的なプレゼンスを高め、監査品質の維持・向上に向けた国際的な協力関係の構築・充実に資することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	事務局ホスト国として、事務局の設置・運営に伴う費用に関して一定の負担が求められており、このための拠出金を支出(金額については、IFIARとの間で、インフレ等を含めた関連する状況を踏まえて5年ごとに見直す取極めとなっている)。また、事務局の運営を支える人材の増強のため、当庁からの職員1名を派遣しその費用等を賄う拠出金を支出。事務局の常勤職員は、7名まで拡大(当庁からの派遣職員1名を含む)。事務局が設置された東京での会議開催は、平成29年の事務局設置以降、3回(このほか、コロナ禍により、東京開催予定をバーチャル開催に変更した事例あり)。なお、資金支援等に加え、IFIARの代表理事国として、また令和3年4月から令和5年4月までは当庁職員がIFIARの副議長を、令和5年4月以降は同職員がIFIARの議長を務めることにより、IFIARの組織運営や国際的な監査の品質向上に資する取組を推進するとともに、IFIARの活動や、資本市場における監査及び監査品質の重要性を広く国民に周知するための情報発信を更に強化していく。						
事業概要 (5行程度以内)	IFIARは、加盟当局数の増大や取組の拡大・深化等を受けて、2017年に常設事務局を東京に開設(2023年7月現在、54か国・地域の監査監督当局が加盟)。我が国に本部である事務局を置く、初の金融関係国際機関であるIFIARに対し、同事務局の円滑な運営に向け、ホスト国として必要な支援を行う(①事務局の運営に伴う費用に関する拠出金、②事務局の運営を支える人材のうち1名を派遣しその費用等を賄う拠出金)。なお、②の派遣人材は、IFIARのミッションに資する取組を行う際の基礎となる会議資料の作成や、WG/TFの活動のサポート等を担っている。 また、我が国で開催する代表理事会等の国際会議を同事務局と共に円滑に運営するため、ホスト国として必要な支援を行う(③会議開催経費)。						
事業概要URL	https://www.fsa.go.jp/ifiar/20161207-1.html						
実施方法	その他						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	92	100	101	106	170
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	5	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	97	100	101	106	170	
	執行額(G)		97	98	100		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	98%	99%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		105%	98%	99%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		金融庁共通費		○令和6年4月に日本において開催予定のIFIAR本会合等について、開催国として運営経費等の支援を行っていくため。(監査監督機関国際フォーラム本会合等開催庁費: + 73百万円) 「重要政策推進枠: 73百万」		
	(目)	監査監督機関国際フォーラム拠出金	99	97			
	(目)	監査監督機関国際フォーラム本会合等開催業務費	5	73			
	(目)	庁費	1	-			
	(目)	職員旅費	0	-			
		その他	1				
	計(A)		106	170			

活動内容① (アクティビティ)		IFIAR事務局の円滑な運営を通じてグローバルな監査品質の向上に貢献するため、監査監督機関国際フォーラム(IFIAR)の活動に必要な資金支援を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		IFIAR事務局の円滑な運営	本会合・代表理事会・グローバル監査品質ワーキンググループの開催回数	活動実績	件	8	8	8	-	-	
				当初見込み	件	8	8	8	8	8	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	グローバルに監査品質の向上を実現するためには、各国のメンバーファームに影響力を有するグローバルの経営陣に直接働きかけることが重要。このため、IFIARは、監査品質に係る定量的な調査結果等も踏まえて、グローバルな監査ネットワークの経営陣や担当者と定期的に対話し、高品質な監査の一貫した実施を促している。こうした目的に資するように必要な準備を行った上で監査法人との会議を定期的を実施すること(短期アウトカム)は、IFIAR事務局の円滑な運営(アウトプット)の主要な要素である。なお、本会合はCEOセッションが開催される場であり、代表理事会はグローバル監査品質ワーキンググループを含むIFIARの作業部会等の活動や方針の報告を受け、必要に応じ指針を示すなどの役割を担う意思決定機関である。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		監査法人との会議回数	本会合CEOセッション・グローバル監査品質ワーキンググループの開催回数	成果実績	回	3	3	3	-		
				目標値	回	3	3	3	3		
				達成度	%	100	100	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		グローバルな監査品質の向上に資する活動の成果として、6大監査法人ネットワークのCEO等との会議開催回数を成果指標に設定。 (内部資料)									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	監査法人との会議(短期アウトカム)において、グローバルな監査ネットワークの経営陣や担当者と定期的に対話し、高品質な監査の一貫した実施を促すことは、その数年後の検査結果(長期アウトカム)に影響を与える。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6 年度		
		グローバルな監査品質の向上	検査指摘率	成果実績	%	34	30	26			
				目標値	%	-	-	-	25		
				達成度	%	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		グローバルな監査品質の向上に資する活動の成果として、6大監査法人ネットワークに加盟している監査法人に対して、IFIARメンバー当局が行った検査における検査指摘率を成果指標に設定。なお、2019 年から 2023 年の4 年間で、取組参加当局(IFIARに加盟する法域の約半数)が実施した上場企業に対する個別監査業務の検査で1つ以上の重要な不備の指摘があった比率について、6大監査法人ネットワークに対し、当該指摘率を少なくとも 25%削減することを目標に設定しているが、その推移については2年ごとに公表することとなっているため、ここでは毎年公表される検査指摘率について記載している。 (IFIAR/審査会ウェブサイト)									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									
活動内容② (アクティビティ)		IFIAR事務局の円滑な運営を通じてグローバルな監査品質の向上に貢献するため、事務局の運営を支える人材として当庁からの職員1名を派遣しその費用を支援する。 (活動目標等は①と同じ)									
↓											

活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		IFIAR事務局の円滑な運営	本会合・代表理事会・グローバル監査品質ワーキンググループの開催回数	活動実績	件	8	8	8	-	-
				当初見込み	件	8	8	8	8	8
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	グローバルに監査品質の向上を実現するためには、各国のメンバーファームに影響力を有するグローバルの経営陣に直接働きかけることが重要。このため、IFIARは、監査品質に係る定量的な調査結果等も踏まえて、グローバルな監査ネットワークの経営陣や担当者と定期的に対話し、高品質な監査の一貫した実施を促している。こうした目的に資するように必要な準備を行った上で監査法人との会議を定期的に実施すること(短期アウトカム)は、IFIAR事務局の円滑な運営(アウトプット)の主要な要素である。なお、本会合はCEOセッションが開催される場であり、代表理事会はグローバル監査品質ワーキンググループを含むIFIARの作業部会等の活動や方針の報告を受け、必要に応じ指針を示すなどの役割を担う意思決定機関である。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度	
				成果実績	回	3	3	3	-	5年度
				目標値	回	3	3	3	3	年度
				達成度	%	100	100	100	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		グローバルな監査品質の向上に資する活動の成果として、6大監査法人ネットワークのCEO等とのセッション開催回数を成果指標に設定。 (内部資料)								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	監査法人との会議(短期アウトカム)において、グローバルな監査ネットワークの経営陣や担当者と定期的に対話し、高品質な監査の一貫した実施を促すことは、その数年後の検査結果(長期アウトカム)に影響を与える。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度	
				成果実績	%	34	30	26	-	6年度
				目標値	%	-	-	-	25	年度
				達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		グローバルな監査品質の向上に資する活動の成果として、6大監査法人ネットワークに加盟している監査法人に対して、IFIARメンバー当局が行った検査における検査指摘率を成果指標に設定。なお、2019年から2023年の4年間で、取組参加当局(IFIARに加盟する法域の約半数)が実施した上場企業に対する個別監査業務の検査で1つ以上の重要な不備の指摘があった比率について、6大監査法人ネットワークに対し、当該指摘率を少なくとも25%削減することを目標に設定しているが、その推移については2年ごとに公表することとなっているため、ここでは毎年公表される検査指摘率について記載している。 (IFIAR/審査会ウェブサイト)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								
活動内容③ (アクティビティ)		国内への知見共有のため、IFIAR事務局への派遣職員を含む金融庁・審査会職員がIFIARの活動に深く関与していく。その際、IFIARの議論の場の提供を分担し活動に貢献するため、代表理事会等の会議開催に必要な費用を支援する。								
↓										

活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)			活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
			日本でのIFIAR関連国際会議の開催	代表理事会等の国際会議が日本で開催された回数 ※令和2・3年度はコロナのためすべてバーチャル開催。	活動実績	回	-	-	1	1	-
					当初見込み	回	1	1	1	1	1
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)		日本でIFIAR関連国際会議をホストすることにより、IFIAR事務局ホスト国・代表理事国としてのIFIARメンバー当局からの期待に応え、信頼関係を構築し、国内外でより深い議論を行い知見を得ることで、国内への共有につながる。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)			成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
			監査品質の向上に関する国際的な議論に積極的に参画	本会合・代表理事会への金融庁・審査会職員の参加回数	成果実績	回	5	6	6	-	
					目標値	回	5	6	6	6	
					達成度	%	100	100	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績			IFIARの意思決定にも関係する本会合・代表理事会への金融庁・審査会職員の参加回数を成果指標に設定。 (内部資料)								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)		監査品質の向上に関する国際的な議論に積極的に参画するなどして貢献し、IFIARメンバー当局からの信頼を得ることで、国内に共有する情報の充実にもつながる。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)			成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6 年度	
			IFIARの取組に関する国内への知見共有	プレスリリース、日本IFIARネットワーク会議、各種寄稿等の数	成果実績	回	5	8	5	-	
					目標値	回	5	5	5	5	
					達成度	%	100	160	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績			金融庁ウェブサイト、内部資料								
アウトカム設定について の説明			アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
			-								
			アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
			-								
アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載										チェック	
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称										
	URL										
	該当箇所										

事業所管部局による点検・改善																												
点検結果	○ IFIAR事務局のホスト国として、円滑な運営に向けた支援のための拠出金を適切に支出している。 ○ 我が国の国際的なプレゼンスを高め、東京の国際金融センターとしての地位を向上させるため、IFIAR代表理事会への参加（令和4年度：5回開催中5回）を通じて、監査品質の維持・向上に向けた議論に積極的に貢献している。 ○ 代表理事会及び関連会合のホスト回数について、令和4年度は、予定通り1回となった。 ○ 費用の支出や国際会議への参加に加え、令和3年4月から令和5年4月まではIFIAR副議長を当庁職員が務めることにより、国際的な議論を積極的に主導し、日本のプレゼンスを高めるとともに国際協調に貢献した。また、令和5年4月以降はIFIAR議長を当庁職員が務めることになったことから、更に日本のプレゼンスを高めるとともに国際協調に貢献できると思われる。																	目標年度における効果測定に関する評価（令和6年度実施）										
改善の方向性	○ 我が国に拠点を置くIFIARの議長国として、引き続きIFIARの組織運営を積極的に主導することにより、我が国の国際的なプレゼンスを高めるとともに、グローバルな監査品質の向上に関する議論や監査監督当局の国際的な協力関係の構築・充実に貢献する。 ○ 代表理事会のメンバーとして、本会合・代表理事会等の国際会議への参加を通じ、IFIARの運営に関する議論に積極的に関与するとともに、事務局の円滑な運営のため、ホスト国として必要な支援を引き続き行っていく。 ○ IFIARの活動を広く国民に周知するため、ウェブサイトへの情報掲載や、国内における監査のステークホルダーからなる「日本IFIARネットワーク」等を活用し、監査品質の向上に向けたIFIARにおける議論を積極的に国内に発信する。																											
外部有識者の所見																												
点検対象外																												
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																												
現状通り	○関係者に対する情報発信について検討していくこと。 ○引き続き、拠出した資金が有効に活用されるよう、資金使途を確認すること。																											
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況																												
現状通り	○本事業の目的を実現するために、IFIARとの協力と貢献に関する合意（ホスト合意）に基づき、IFIAR事務局のホスト国として、引き続き必要な資金支援を行うとともに、IFIARの代表理事国及び議長国として、監査品質の向上に関する国際的な議論において主導的な役割を果たしていく。 ○本経費については、IFIARの会計報告を通して資金使途の適切性及び有効性を確認し、適切な場合にはIFIARにより効率的かつ効果的な組織運営を求めていることとしつつ、令和6年度においては、令和6年4月に日本で開催予定のIFIAR本会合等の開催に必要な経費の一部を令和6年度予算の要望額として要求するため、前年比70百万円の増額となる予算要求を行っている。 ○関係者に対する情報発信については、当庁ウェブサイトへの情報掲載、国内における監査のステークホルダーからなる日本IFIARネットワークの活用、寄稿・講演、日本での対面会合の開催の機会を活用した意見交換等を通じ、積極的に行っていく。																											
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																											
	上記への対応状況																											
	その他の指摘事項																											
	上記への対応状況																											
備考																												
関連する過去のレビューシートの事業番号																												
平成23年度																												
平成24年度																												
平成25年度																												
平成26年度																												
平成27年度	新28-0004																											
平成28年度	20																											
平成29年度	0013																											
平成30年度	20																											
令和元年度	金融庁	-			0021																							
令和2年度	金融庁				0021																							
令和3年度	2021	金融		20	0025																							
令和4年度	2022	金融		21	0026																							

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求については現時点で予定やイメージを記入。

```
graph TD; A[金融庁  
100百万円] --> B[A.(一社)監査監督機関国際フォーラム (IFIAR)  
100百万円]; B --- C[監査品質の維持・向上に向けた各法域の監査監督当局の国際的な  
協力関係の構築・充実を目的とした活動];
```

金融庁
100百万円

A.(一社)監査監督機関国際フォーラム (IFIAR)
100百万円

監査品質の維持・向上に向けた各法域の監査監督当局の国際的な
協力関係の構築・充実を目的とした活動

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載	チェック	
--------------------------------------	------	--

A.

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載	チェック	
--	------	--

事業番号										2023		-		金融		-		22		-		0033					
令和5年度行政事業レビューシート																								(金融庁)			
事業名				国際機関分担金(IOSCO)								担当部局庁				総合政策局						作成責任者					
事業開始年度				平成10年度		事業終了 (予定)年度		終了予定なし		担当課室				総務課国際室						永山 玲奈							
会計区分				一般会計																							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				-								関係する 計画、通知等				証券監督者国際機構規約第14条・第26条											
政策				-								主要経費				その他の事項経費											
施策				-																							
政策体系・評価書URL				-																							
事業の目的 (5行程度以内)				証券当局として国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、国際金融システムの安定と発展、ひいては我が国経済の持続的な成長に資すること。																							
現状・課題 (5行程度以内)				証券監督者国際機構(IOSCO)では、証券監督に関する原則・指針等の国際的なルールの策定が行われており、各加盟機関が負担すべき事務運営費として、負担が求められるものである。																							
事業概要 (5行程度以内)				証券監督者国際機構(IOSCO)の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金																							
事業概要URL				-																							
実施方法				その他																							
補助率等				-																							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)				予算の 状況				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求															
						当初予算(A)		12	12	12	14	15															
						補正予算(B)		-	-	-	-																
											-																
											-																
											-																
											-																
						前年度から繰越し(C)		-	-	-	-	-															
						翌年度へ繰越し(D)		-	-	-	-																
						予備費等(E)		-	-	-	-																
				計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)		12	12	12	14	15																	
				執行額(G)		11	11	12																			
				執行率(%) =(G)/(F)		92%	92%	100%																			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		92%	92%	100%																							
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)				歳出予算項・目		令和5年度当初予算		令和6年度要求		主な増減理由(・要望額・予備費)																	
				(項)		金融庁共通費			証券監督者国際機構(IOSCO)分担金の要求増: +1百万円																		
					(目)	証券監督者国際機構等分担金	14	15																			
						その他																					
				計(A)		14	15																				

活動内容① (アクティビティ)		国際機関に対して加盟国の責務に係る分担金を支出する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		分担金の負担実施	国際機関への加盟国又は加盟機関の責務に係る分担金の負担実施件数	活動実績	件	1	1	1	－	－	
				当初見込み	件	1	1	1	1	1	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	分担金を支払い、証券監督者国際機構(IOSCO)の加盟機関であることで、当該機関での国際的な議論に参画することができる。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度		
		金融に関する国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく。	国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された会合回数	成果実績	件	2	2	2	－		
				目標値	件	2	2	2	2		
				達成度	%	100	100	100	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		担当課室にて集計									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		国際的な議論の趨勢は、世界情勢によって変わり得る、予測不能なものであるため、「国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された会合回数」以外に定量的な成果目標を設定することが難しい。									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定 等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									
事業所管部局による点検・改善											
点検結果		○本経費は、証券監督者国際機構(IOSCO)の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金であり、総会において日本が賛同した議案が決議された件数が目標(令和4年度:2件)に達していることから、適切に執行されていると考える。 ○引き続き、金融に関する国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していくことが必要である。 ○費用の支出や国際会議への参加に加えて、例えば、IOSCO アジア太平洋地域委員会議長、IOSCO代表理事会副議長などを金融庁の職員が務めることにより、国際的な議論を積極的に主導している。					目標年度における効果測定に関する評価(令和10年度実施)				
							－				
改善の 方向性		総会等の国際会議を通じ、積極的に国際機関の運営に関わるとともに、委員会や作業部会の議長として、また、事務局との人脈を用いて、適切なガバナンスの実施や円滑な議事進行や作業を進める等して国際機関に対して効率的な運営を求める。									
外部有識者の所見											
点検対象外											
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見											
現状通り		今まで確認した資金使途の内容も踏まえ、真に必要な要求内容となるよう精査し、拠出した資金が有効に活用されるよう、資金使途を確認すること。									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
現状通り		○事業目的を実現するため、6年度予算要求においては、為替レート等の変更に伴い、前年度比1百万円の増額となる予算要求を行うとともに、我が国が意見を発信し続ける立場を確保できるよう、引き続き、国際的な議論に積極的に参画していく。 ○資金使途については、総会等の国際会議への参加を通じ、引き続き資金使途の適切性及び有効性について確認するとともに、国際機関に対する効率的な運営を求めていく。									

過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ																													
	上記への対応状況																													
	その他の指摘事項																													
	上記への対応状況																													
備考																														
関連する過去のレビューシートの事業番号																														
平成23年度	3																													
平成24年度	3																													
平成25年度	3																													
平成26年度	3																													
平成27年度	17																													
平成28年度	19-1																													
平成29年度	0021																													
平成30年度	0022																													
令和元年度	金融庁	-			0022																									
令和2年度	金融庁				0022																									
令和3年度	2021	金融		20		0026																								
令和4年度	2022	金融		21		0027																								

事業番号2023 - 金融 - 22 - 0034

	令和5年度行政事業レビューシート					(金融庁)	
事業名	国際機関分担金 (IAIS)			担当部局庁	総合政策局		作成責任者
事業開始年度	平成10年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課国際室		永山 玲奈
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	保険監督者国際機構定款2部第7条		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	保険監督分野における国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、国際金融システムの安定と発展、ひいては我が国経済の持続的な成長に資すること。						
現状・課題 (5行程度以内)	保険監督者国際機構 (IAIS) が5年毎に公表する“Strategic Plan and Financial Outlook”では、IAISが5年毎に設定する目標と戦略に対し、加盟国が戦略実行に必要な費用の一部を毎年負担することが定められている。日本も加盟国として分担金を支払い国際協調に貢献することで、日本のプレゼンスを高め、国際金融システムの安定と発展に寄与することができる。						
事業概要 (5行程度以内)	保険監督者国際機構 (IAIS) の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金						
事業概要URL	-						
実施方法	その他						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算 (A)	18	20	22	27	37
		補正予算 (B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し (C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し (D)	-	-	-	-	
		予備費等 (E)	-	-	-	-	
	計 (F) = (A) + (B) + (C) + (D) + (E)	18	20	22	27	37	
	執行額 (G)		18	20	22		
	執行率 (%) = (G) / (F)		100%	100%	100%		
	当初予算 + 補正予算に対する執行額の割合 (%) = (G) / {(A) + (B)}		100%	100%	100%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由 (・要望額・予備費)		
	(項)	金融庁共通費			・金融庁が負担すべき分担金の増額が見込まれること、及び為替レートが変更されたため。(+ 10 百万円)		
	(目)	証券監督者国際機構等分担金	27	37			
		その他					
	計 (A)		27	37			

活動内容① (アクティビティ)		国際機関に対して加盟国の責務に係る分担金を支出する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		分担金の負担実施	国際機関への加盟国又は加盟機関の責務に係る分担金の負担実施件数	活動実績	件	1	1	1	-	-	
				当初見込み	件	1	1	1	1	1	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	分担金を支払い、保険監督者国際機構(IAIS)加盟国であることで、保険分野における国際協調に貢献し、日本のプレゼンスを高めることができる。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度		
		金融に関する国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく。	国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された会合回数	成果実績	回	13	6	4	-		
				目標値	回	13	6	4	4		
				達成度	%	100	100	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		担当課室にて集計									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		国際的な議論の趨勢は、世界情勢によって変わり得る、予測不能なものであるため、「国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された会合回数」以外に定量的な成果目標を設定することが難しい。									
事業に関連する KPIが定められて いる関連決定 等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									

[illegible]

	令和5年度行政事業レビューシート					(金融庁)	
事業名	国際機関分担金 (FATF)			担当部局庁	総合政策局		作成責任者
事業開始年度	平成13年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課国際室		永山 玲奈
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	経済協力開発機構条約第20条2		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	国際的なマネーロンダリング対策等の中心的な役割を担っている、金融活動作業部会 (FATF) における国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、国際金融システムの安定と発展、ひいては我が国経済の持続的な成長に資すること。						
現状・課題 (5行程度以内)	金融活動作業部会 (FATF) は、国際的なマネーロンダリング対策等の中心的な役割を担っており、各加盟国が負担すべき事務運営費として、負担が求められるものである。						
事業概要 (5行程度以内)	金融活動作業部会 (FATF) の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金						
事業概要URL	-						
実施方法	その他						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算 (A)	12	12	13	13	20
		補正予算 (B)	▲ 3	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し (C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し (D)	-	-	-	-	
	予備費等 (E)	-	-	-	-		
	計 (F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	9	12	13	13	20	
	執行額 (G)		9	10	11		
	執行率 (%) =(G)/(F)		100%	83%	85%		
当初予算 + 補正予算に対する執行額の割合 (%) =(G)/[(A)+(B)]		100%	83%	85%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由 (・要望額・予備費)		
	(項)	金融庁共通費			金融活動作業部会 (FATF) 分担金の要求増: 7百万円 FATF 分担金自体の増加傾向 (前年比1.2倍) 及び為替レートの変更を踏まえ、増額要求となっている。		
		(目) 証券監督者国際機構等分担金	13	20			
		その他					
	計 (A)		13	20			

活動内容① (アクティビティ)		国際機関に対して加盟国の責務に係る分担金を支出する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		分担金の負担実施	国際機関への加盟国又は加盟機関の責務に係る分担金の負担実施件数	活動実績	件	1	1	1	－	－	
				当初見込み	件	1	1	1	1	1	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	分担金を支払い、金融活動作業部会(FATF)加盟国であることで、当該機関での国際的な議論に参画することができる。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度		
		金融に関する国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく。	国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された会合回数	成果実績	回	3	3	3	－		
				目標値	回	3	3	3	3		
				達成度	%	100	100	100	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		担当課室にて集計									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		国際的な議論の趨勢は、世界情勢によって変わり得る、予測不能なものであるため、長期アウトカムで記載した「国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された会合回数」以外に定量的な成果目標を設定することが難しい。									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									
事業所管部局による点検・改善											
点検結果		本経費は、金融活動作業部会(FATF)の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金であり、成果実績は成果目標に見合ったものになっていることから、適切に執行されていると考える。 引き続き、金融に関する国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していくことが必要である。 FATFについては、マネー・ローンダリングやテロ資金供与対策の国際的取組みに参画し、日本の金融セクター・金融機関等の実情を踏まえ、改訂FATF勧告に係るガイダンス等の策定作業や実施状況のモニタリング等に積極的に貢献している。					目標年度における効果測定に関する評価(令和10年度実施)				
							－				
改善の 方向性		総会や部会を通じ、積極的に国際機関の運営に関わるとともに、部会傘下に設立されたコンタクト・グループの共同議長として、また、事務局との人脈を用いて、適切なガバナンスや円滑な会議運営等を実現することを通じて、国際機関に対して効率的な運営を求める。									
外部有識者の所見											
点検対象外											
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見											
現状通り		今まで確認した資金使途の内容も踏まえ、真に必要な要求内容となるよう精査し、拠出した資金が有効に活用されるよう、資金使途を確認すること。									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
現状通り		○事業目的を実現するため、6年度予算要求においては、負担金自体の増加傾向(前年比1.2倍)及び為替レートの変更を踏まえ、前年度比7百万円の増額となる予算要求を行うとともに、我が国が意見を発信し続ける立場を確保できるよう、引き続き、国際的な議論に積極的に参画していく。 ○資金使途については、総会等の国際会議への参加を通じ、引き続き資金使途の適切性及び有効性について確認するとともに、国際機関に対する効率的な運営を求めていく。									

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

金融庁
11百万円

加盟国として事務運営費を負担

A. 金融活動作業部会 (FATF)
11百万円

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事務運営費	金融活動作業部会 (FATF) 事務運営費	11			
計		11	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	金融活動作業部会 (FATF)	-	分担金	11	その他	-	-	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

事業番号										2023		-		金融		-		22		-		0036					
令和5年度行政事業レビューシート																								(金融庁)			
事業名				国際機関分担金 (APG)								担当部局庁				総合政策局						作成責任者					
事業開始年度				平成12年度		事業終了 (予定)年度		終了予定なし		担当課室				総務課国際室						永山 玲奈							
会計区分				一般会計																							
根拠法令 (具体的な条項も記載)				-								関係する計画、通知等				アジア・太平洋マネー・ローンダリング対策グループ規約5.2の6											
政策				-								主要経費				その他の事項経費											
施策				-																							
政策体系・評価書URL				-																							
事業の目的 (5行程度以内)				アジア・太平洋地域マネー・ローンダリング・テロ資金供与対策の促進を担うアジア・太平洋マネー・ローンダリング対策グループ (APG) における国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、国際金融システムの安定と発展、ひいては我が国経済の持続的な成長に資すること。																							
現状・課題 (5行程度以内)				アジア・太平洋マネー・ローンダリング対策グループ (APG) では、アジア・太平洋地域マネー・ローンダリング・テロ資金供与対策の促進を担っており、各加盟国が負担すべき事務運営費として、負担が求められるものである。																							
事業概要 (5行程度以内)				アジア・太平洋マネー・ローンダリング対策グループ (APG) の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金																							
事業概要URL				-																							
実施方法				その他																							
補助率等				-																							
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)				予算の状況		当初予算 (A)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求															
						補正予算 (B)		-	-	-	-																
											-																
											-																
											-																
											-																
						前年度から繰越し (C)		-	-	-	-	-															
						翌年度へ繰越し (D)		-	-	-	-																
						予備費等 (E)		-	-	-	-																
						計 (F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)		6	6	7	8	10															
				執行額 (G)		6	6	6																			
				執行率 (%) =(G)/(F)		100%	100%	86%																			
				当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%) =(G)/{(A)+(B)}		100%	100%	86%																			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)				歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由 (・要望額・予備費)																			
				(項)		金融庁共通費			アジア・太平洋マネー・ローンダリング地策グループ (APG) 分担金の要求増: +2百万円 APG分担金自体の増加傾向 (前年比1.3倍) を踏まえ、増額要求となっている。																		
					(目)	証券監督者国際機構等分担金	8	10																			
						その他																					
				計 (A)		8	10																				

活動内容① (アクティビティ)		国際機関に対して加盟国の責務に係る分担金を支出する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		分担金の負担実施	国際機関への加盟国又は加盟機関の責務に係る分担金の負担実施件数	活動実績	件	1	1	1	－	－	
				当初見込み	件	1	1	1	1	1	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	分担金を支払い、アジア・太平洋マネー・ローンダリング対策グループ(APG)加盟国であることで、当該機関での国際的な議論に参画することができる。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度		
		金融に関する国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく。	国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された会合回数	成果実績	回	4	4	4	－		
				目標値	回	4	4	4	4		
				達成度	%	100	100	100	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		担当課室にて集計									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		国際的な議論の趨勢は、世界情勢によって変わり得る、予測不能なものであるため、長期アウトカムで記載した「国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された会合回数」以外に定量的な成果目標を設定することが難しい。									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定 等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									
事業所管部局による点検・改善											
点検結果		本経費は、アジア・太平洋マネー・ローンダリング対策グループ(APG)の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金であり、成果実績は成果目標に見合ったものになっていることから、適切に執行されていると考える。 引き続き、金融に関する国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していくことが必要である。 APGにおいては、我が国として経験・知見等を積極的に提供することで、アジア太平洋地域全体でのマネー・ローンダリングやテロ資金供与対策の向上に貢献するとともに、当該会議体を通じて、加盟国との当局間協力の強化を行っている。					目標年度における効果測定に関する評価(令和10年度実施)				
							－				
改善の 方向性		総会や部会の議論のなかで、適切なガバナンスや円滑な会議運営等の議論へ積極的に参加することを通じて、国際機関に対して効率的な運営を求める。									
外部有識者の所見											
点検対象外											
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見											
現状通り		今まで確認した資金使途の内容も踏まえ、真に必要な要求内容となるよう精査し、拠出した資金が有効に活用されるよう、資金使途を確認すること。									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
現状通り		○事業目的を実現するため、6年度予算要求において、負担金自体の増加傾向(前年比1.3倍)を踏まえ、前年度比2百万円の増額となる予算要求を行うとともに、我が国が意見を発信し続ける立場を確保できるよう、引き続き、国際的な議論に積極的に参画していく。 ○資金使途については、総会等の国際会議への参加を通じ、引き続き資金使途の適切性及び有効性について確認するとともに、国際機関に対する効率的な運営を求めていく。									

過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ																													
	上記への対応状況																													
	その他の指摘事項																													
	上記への対応状況																													
備考																														
関連する過去のレビューシートの事業番号																														
平成23年度	3																													
平成24年度	3																													
平成25年度	3																													
平成26年度	3																													
平成27年度	17																													
平成28年度	19-4																													
平成29年度	0024																													
平成30年度	0025																													
令和元年度	金融庁	-			0025																									
令和2年度	金融庁				0025																									
令和3年度	2021	金融		20		0029																								
令和4年度	2022	金融		21		0030																								

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	<pre> graph TD A[金融庁 6百万円] -- "加盟国として事務運営費を負担" --> B["A. アジア・太平洋マネー・ローンダリング 対策グループ(APG) 6百万円"] </pre>						
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	事務運営費	アジア・太平洋マネー・ローンダリング対策グループ(APG)事務運営費	6				
	計		6	計			
	費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						
			チェック				

事業番号										2023		-		金融		-		22		-		0037					
令和5年度行政事業レビューシート																								(金融庁)			
事業名				国際機関分担金 (FinCoNet)								担当部局庁				総合政策局						作成責任者					
事業開始年度				平成26年度				事業終了 (予定)年度		終了予定なし				担当課室				総務課国際室						永山 玲奈			
会計区分				一般会計																							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				-								関係する 計画、通知等				金融サービス利用者保護国際組織定款第8条											
政策				-								主要経費				その他の事項経費											
施策				-																							
政策体系・評価書URL				-																							
事業の目的 (5行程度以内)				効率的かつ実効的な金融市場行動の監視を通じて健全なマーケット・コンダクトや強固な金融サービス利用者保護の促進を担っている、金融サービス利用者保護国際組織 (FinCoNet) における国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、国際金融システムの安定と発展、ひいては我が国経済の持続的な成長に資すること。																							
現状・課題 (5行程度以内)				金融サービス利用者保護国際組織 (FinCoNet) では、強固で実効的な監督実務の促進、ベスト・プラクティスの共有、及び公正で透明性のある市場慣行の促進等が行われており、金融サービス利用者保護国際組織 (FinCoNet) の各加盟機関が負担すべき事務運営費として、負担が求められるものである。																							
事業概要 (5行程度以内)				金融サービス利用者保護国際組織 (FinCoNet) の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金																							
事業概要URL				-																							
実施方法				その他																							
補助率等				-																							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)				予算の 状況		当初予算 (A)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求															
						補正予算 (B)		1	1	1	1	2															
								-	-	-	-																
											-																
											-																
											-																
											-																
						前年度から繰越し (C)		-	-	-	-	-															
						翌年度へ繰越し (D)		-	-	-	-																
						予備費等 (E)		-	-	-	-																
				計 (F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)		1	1	1	1	2																	
				執行額 (G)		1	1	1																			
				執行率 (%) =(G)/(F)		100%	100%	100%																			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%) =(G)/{(A)+(B)}		100%	100%	100%																							
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)				歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由 (・要望額・予備費)																			
				(項)		金融庁共通費			金融サービス利用者保護国際組織 (FinCoNet) 分担金の要求増: +約35万円																		
					(目)	証券監督者国際機構等分担金	1	2																			
						その他																					
				計 (A)		1	2																				

活動内容① (アクティビティ)		国際機関に対して加盟国の責務に係る分担金を支出する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		分担金の負担実施	国際機関への加盟国又は加盟機関の責務に係る分担金の負担実施件数	活動実績	件	1	1	1	－	－	
				当初見込み	件	1	1	1	1	1	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	分担金を支払い、金融サービス利用者保護国際組織（FinCoNet）の加盟組織であることで、当該機関での国際的な議論に参画することができる。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度		
		金融に関する国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく。	国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された回数	成果実績	回	10	8	8	－		
				目標値	回	10	8	8	8		
				達成度	%	100	100	100	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		担当課室にて集計									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		国際的な議論の趨勢は、世界情勢によって変わり得る、予測不能なものであるため、「国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された回数」以外に定量的な成果目標を設定することが難しい。									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定 等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									
事業所管部局による点検・改善											
点検結果		○本経費は、金融サービス利用者保護国際組織（FinCoNet）の各加盟機関が負担すべき事務運営費としての分担金であり、成果実績は成果目標に見合ったものになっていることから、適切に執行されていると考える。 ○引き続き、金融に関する国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していくことが必要である。 ○FinCoNetについては、費用の支出や国際会議への参加に加えて、執行評議会のメンバーを金融庁の職員が務めることにより、国際的な議論を積極的に主導している。					目標年度における効果測定に関する評価(令和10年度実施)				
							－				
改善の 方向性		総会等の国際会議を通じ、積極的に国際機関の運営に関わるとともに、国際機関に対して効率的な運営を求める。									
外部有識者の所見											
点検対象外											
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見											
現状通り		今まで確認した資金使途の内容も踏まえ、真に必要な要求内容となるよう精査し、拠出した資金が有効に活用されるよう、資金使途を確認すること。									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
現状通り		○事業目的を実現するため、6年度予算要求においても、前年同規模の予算要求を行っていくとともに、我が国が意見を発信し続ける立場を確保できるよう、引き続き、国際的な議論に積極的に参画していく。 ○資金使途については、総会等の国際会議への参加を通じ、引き続き資金使途の適切性及び有効性について確認するとともに、国際機関に対する効率的な運営を求めていく。									

[illegible]

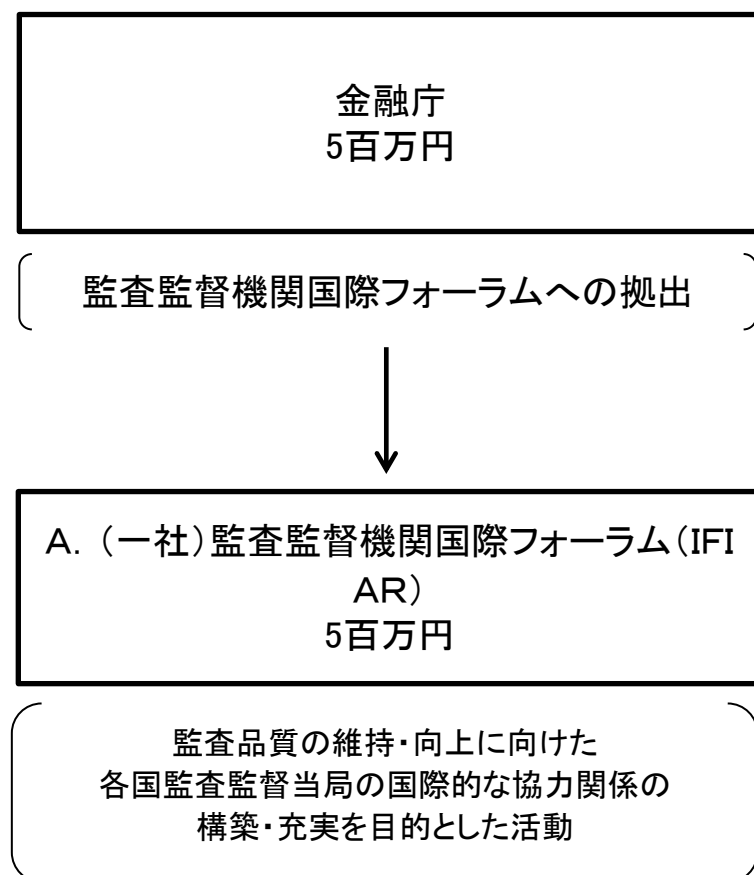
	令和5年度行政事業レビューシート					(金融庁)	
事業名	国際機関分担金 (IFIAR)			担当部局庁	総合政策局		作成責任者
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	IFIAR戦略企画本部IFIAR戦略企画室		園田 周
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) 憲章第9条		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) は、グローバルに監査監督を向上させることにより、投資家を含む公益に資することをミッションとし、①当局間で知見を共有し加盟当局の能力向上を図るとともに、②協調して国際的に重要な監査関係者と対話を行うことで、グローバルな監査品質の向上、ひいては資本市場の公正性・透明性の向上に取り組んでいる。正副議長レベルでのIFIARを代表した活動や、その運営についての意思決定機関である代表理事会における議論のほか、具体的な取組はWG(ワーキンググループ) やTF(タスクフォース) が担っている。 本事業は、監査監督に関する国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、資本市場の公正性と透明性の向上、ひいては我が国経済の持続的な成長に資することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	IFIARは、監査市場を巡る環境や監査監督機関の活動等に係る情報共有、監査監督活動における協調関係の促進、他の国際機関との連携拠点の提供等を活動内容としている。設立当初は会合開催国が管理運営費用を負担していたが、会合を重ねるにつれ加盟国は増加しており(2023年7月現在、54か国・地域の監査監督当局が加盟)、開催国が全費用を負担することは極めて困難であるため、2010年より各国の分担金において管理運営されることとなっている。						
事業概要 (5行程度以内)	IFIARの各加盟当局が負担すべき事務運営費としての分担金						
事業概要URL	https://www.fsa.go.jp/ifiar/20161207-1.html						
実施方法	その他						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	6	6	7	9	9
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	6	6	7	9	9	
	執行額(G)		5	5	5		
	執行率(%) =(G)/(F)		83%	83%	71%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		83%	83%	71%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	金融庁共通費					
	(目)	証券監督者国際機構等分担金	9	9			
		その他					
	計(A)		9	9			

活動内容① (アクティビティ)		監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) の各加盟当局が負担すべき事務運営費としての分担金の支払									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		IFIAR事務局の円滑な運営	国際機関への加盟国又は加盟機関の責務に係る分担金の負担実施件数	活動実績	件	1	1	1	-	-	
				当初見込み	件	1	1	1	1	1	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	IFIAR事務局の円滑な運営には、各加盟当局が分担金を支払うことが必要であるが、その意思決定に深く関与するには、IFIAR内の議論に積極的に参画することが必要。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく	IFIARにおける5つの主要なワーキンググループのうち、日本がメンバーとして出席するワーキンググループ数	成果実績	グループ	5	5	5	-		
				目標値	グループ	5	5	5	5		
				達成度	%	100	100	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		・IFIAR Annual Report (IFIARウェブサイトより)									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	IFIARにおける重要な意思決定機関である代表理事会のメンバーになるためには、分担金を支払い、IFIARのワーキンググループに参画するなどの各種要件を満たす必要がある。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6 年度		
		国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく	IFIARにおける重要な意思決定機関である代表理事会への参加回数	成果実績	回	5	5	5	-		
				目標値	回	5	5	5	5		
				達成度	%	100	100	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		内部資料									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									
アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載									チェック		
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称										
	URL										
	該当箇所										
事業所管部局による点検・改善											
点検結果		○本経費は、監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金であり、令和4年度の成果目標 (IFIARにおける重要な意思決定機関である代表理事会への参加回数 (令和4年度: 5回開催中5回)、IFIARにおける5つの主要なワーキンググループのうち、日本がメンバーとして出席するワーキンググループ数 (令和4年度: 5つ全てに参加)) を達成していることから、適切に執行されていると考える。 ○費用の支出や国際会議への参加に加え、令和3年4月から令和5年4月まではIFIAR副議長を当庁職員が務めることにより、国際的な議論を積極的に主導し、日本のプレゼンスを高めるとともに国際協調に貢献した。また、令和5年4月以降はIFIAR議長を当庁職員が務めることになったことから、更に日本のプレゼンスを高めるとともに国際協調に貢献できると思われる。					目標年度における効果測定に関する評価 (令和6年度実施)				
改善の 方向性		本会合・代表理事会等の国際会議への参加を通じ、積極的に国際機関の運営に関わるとともに、IFIAR議長国として、引き続き適切なガバナンスの実施や円滑な議論を進める等して国際機関に対して効率的かつ効果的な運営を求める。									

[illegible]

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事務運営費	監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) の事務運営	5			
	計		5	計		
	費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載			チェック		

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人監査監督機関国際フォーラム	6010005026240	グローバルな監査品質の向上等	5	その他			
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	